

菅政権の強権的な支配を許さない

“コロナ”危機を乗り越え、憲法を生かした政治への転換を

新型コロナウイルス感染症のもとで、新自由主義政策の矛盾が明らかになっています。

医療・福祉体制の縮小・削減のもとで医療現場は逼迫し、貧困・格差がひろがる中で、失業・倒産は深刻な状態であり、自殺（特に女性や子ども）が増え、子どもへの虐待やいじめも増加しています。

法的根拠もなく行われた一斉休校により、学校現場は多くの困難を強いられましたが、同時に子どもにとって学校は、教科学習にとどまらず、友だちや教職員、地域とのふれあいの中で育ちあい、いのちの輝きをはぐくむ場としての大切な存在であることも再認識されました。

長年に及ぶ教育関係者や保護者・地域の運動により、少人数学級への新たな一歩も踏み出しました。

今年1月26日に出された中央教育審議会の答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指しては、「個別最適な学びと協働的な学びの実現」をかかげています。これに関わり、GIGA スクール構想など、経済産業省主導による教育の市場化、教育産業の学校教育への侵入が強められようとしています。

教育関係者と保護者・市民が「真に子どもの願いにこたえる、本来の学校のあり方や教育の未来」について、合意をひろげていくことも大切になっています。

2021年1月22日、核兵器禁止条約が発効しました。憲法9条を生かす立場から、日本政府に批准を求める運動をすすめましょう。

菅政権はアベ政治を継承し、軍事拡大・「敵基地攻撃能力」の保持、辺野古の米軍新基地建設の強行、日本学術会議への介入など、国民の声を無視し、憲法をなし崩し的に葬り去ろうとする危険な内閣です。

今年は衆議院議員選挙が行われます。市民と野党の共闘で、憲法を守り立憲主義に基づく政治への転換をめざしましょう。

映画&トーク

憲法と子育て・教育を 考えるつどい

記録集ができました



昨年12月20日、東京で「憲法と子育て・教育を考えるつどい」を開き、映画『子どもたちをよろしく』の上映と、前川喜平さんを迎えてのトークを行いました。

コロナ禍、会場の入場制限のため、多くの方にご参加いただけませんでしたが、その記録集ができましたので、お送りいたします。

改憲発議をさせず、憲法を生かした教育や社会をめざして

カンパをお願いします



いつもあたたかいご支援をありがとうございます。菅・自公政権による「改憲」を発議させず、憲法を守り子育てと教育に生かしていくために、今後ともよろしく願いいたします。

コロナ感染症によるさまざまな制約や負担が続く中、まことに恐縮でございますがカンパをよろしくお申し込み申し上げます。郵便振替用紙を同封させていただきました。

郵便振替【口座番号】00170-0-616245、【加入者名】教育子育て九条の会